

平成29年度 武田薬品工業株式会社湘南研究所の環境保全に関する
連絡会議議事要録

日 時 2017年(平成29年)6月2日(金)10時から
場 所 武田薬品工業株式会社湘南研究所会議室
出席者 村岡地区自治町内会連合会、小塚町内会、小塚東町内会、高谷町内会、
宮前町内会、渡内町内会、渡内北町内会及び渡内西町内会の代表
武田薬品工業株式会社湘南研究所リサーチ湘南リサーチセントラルオフィス研究環境マネジメントグループ、グローバル製薬サプライ日本アジアエンジニアリング部湘南施設管理グループ、コーポレートビジネスセンターパーソナル&アトミストレーション部
藤沢市役所環境保全課、保健所生活衛生課、下水道総務課及び村岡公民館職員

議題・内容

1 あいさつ

藤沢市、町内会、武田薬品工業の代表者あいさつの後、次第にしたがって進められました。

2 議題

(1) 藤沢市からの報告

市民団体から、湘南研究所で機構改革が行われるとの報道があり、環境安全体制についても変更があるのではないかと質問がありました。この点について、この連絡会議で質問してほしいとの要望をいただきました。このことにつきましては、次第にあるとおり、このあと武田薬品から説明があります。

市議会では、9月議会の決算委員会及び2月議会の予算委員会で遺伝子組換え廃液処理方法について、及び専門家や幅広い市民による協議会を設置すべきとの質問がありましたが、市からは、文部科学省や本市の立入検査で問題無いことを確認していること、現状の連絡会議で十分機能していることをお答えしています。

行政による環境安全の確認については、環境保全課、下水道総務課、保健所等の関係各課と連携して立ち入り検査等を行い、問題のないことを確認しております。今後とも、行政では環境安全の確認を行ってまいります。

(2) 武田薬品工業からの報告

1) H28年度「環境測定結果報告」

環境測定結果について、排水は毎月1回行いました。法令基準値よりも厳しい管理目標値を設定し管理していますが、管理目標値を上回ることはなく、順調に管理が出来ております。

大気への排気は、ガスエンジン4台及びボイラー30台を測定しましたが、窒素酸化物及びばいじんの管理目標値を超えることはありませんでした。

騒音は、敷地境界の6か所で年4回測定しましたが、8月の測定で朝と昼にセミ

の鳴き声により基準超過のポイントが多かったことから、8月下旬に再度測定しました。このときは、夜間の虫の鳴き声の影響により、管理目標値を超えた地点がありました。武田薬品工業の施設からの音ではないことを確認しています。

振動も騒音と同じ地点で測定しましたが、管理目標値を下回っていました。臭気は、敷地境界の4地点で行いましたが、管理目標値以下でした。

2) 「環境モニター」推薦依頼

例年どおり、各町内会から1名の方のご推薦をお願いします。

3) その他の報告事項

① コミュニティ活動

ア ボランティア清掃

敷地外周の清掃を、昨年は年4回実施しました。今年も4回を予定しており、第1回目を5月24日に実施しました。

イ 秋まつり

10月13日に第4回秋祭りを開催しました。約3,200名の皆様に来場いただきました。

ウ 「桜と新緑を楽しむ散策」

3月26日に開催しました。桜の開花が間に合わず、さらに非常に寒い雨天にも関わらず150名の方に来場いただきました。

エ 希少植物の保存活動について

これまでも取り組んできましたが、敷地内に自生している希少植物であるミゾコウジュなどの保存活動を行っています。また、神奈川県生物多样性普及啓発パンフレットに、湘南研究所の取り組みが紹介されました。

② 医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院への土地譲渡について

医療法人沖繩徳洲会から、病院増築のため研究所敷地の一部譲渡の申し入れがありました。武田薬品としましては、地域医療への貢献を考慮し、譲渡することとしました。譲渡する土地には倉庫等がありますが、研究所開設以来、研究活動は行っておりません。

③ 研究所の機構改革について

武田薬品は、「オンコロジー（がん）」「消化器系疾患」「中枢神経系疾患」の3つの重点疾患領域と「ワクチン」へのさらなる特化と、研究開発活動を日本とアメリカへの集約を通じて、研究開発体制の変革を加速するプランを実行しております。この変革は、武田薬品が長期にわたって持続的な成長を遂げるためにイノベーションを推進し、産官学等のパートナーシップを拡大して研究開発の生産性を高めるため

の取り組みです。このような経営方針に沿って、湘南研究所でも次の取り組みを進めております。

ひとつは、共同出資による新会社、株式会社スコヒアファーマを湘南研究所内に設立しました。循環器領域における8つの研究開発プロジェクトに関するライセンス契約を締結し、4月1日から稼働しています。

2点目として、医薬品の候補となる化合物のスクリーニング、合成、薬効薬理、薬物動態、安全性評価などを行う研究部門の一部を分社化することで、より効率的な研究体制を構築し、真のイノベーションをもたらす治療薬の創出を目指します。

環境保全体制につきましては、新会社のメンバーは武田薬品の出身者であり、湘南研究所の環境保全のルールはよく理解しています。また、新会社には環境保全協定を遵守する義務を課して、協定から逸脱することがないように指導してまいります。今後も湘南研究所から新会社の設立が計画されていますが、武田薬品が責任を持って管理を行ってまいります。

3 質疑

- 町内会 分社化された会社の環境管理は、武田薬品が一括して行うのか。
- 武田 各会社が責任を持ってそれぞれの会社の環境管理を行います。排水などの分析を含めた湘南研究所全体の環境管理は、武田薬品が責任を持って行ってまいります。
- 町内会 環境測定データは、配付資料以外にもあると説明ではありましたが。
- 武田 配付資料は、個々の測定データを1年間にまとめたもの、という意味です。
- 町内会 騒音と臭気の測定場所は、医療法人沖繩徳洲会へ譲渡する場所がありますが、今後は別のところで測定するのですか。
- 武田 譲渡した後は、新しい敷地境界で測定します。
- 町内会 湘南研究所の機構改革で人数は、どう推移するのでしょうか。
- 武田 他サイトからの移転もありますので、全体としては大きな変動はないものと考えています。
- 町内会 従業員の異動により武田薬品の社宅等に、空き家が出ない対策をお願いします。
- 武田 空き家をできるだけ少なくするよう、対策を検討してまいります。
- 藤沢市 藤沢市も空き家対策を進めていますので、社宅等の有効活用をお願いします。
- 町内会 排水先は、柏尾川ですか。
- 藤沢市 大清水浄化センターへ排水し、処理水は境川へ放流されます。

以 上